

3. 災害対策について

問 12 災害への備え

問 12. あなたは現在、災害に対し、備えを行っていますか？

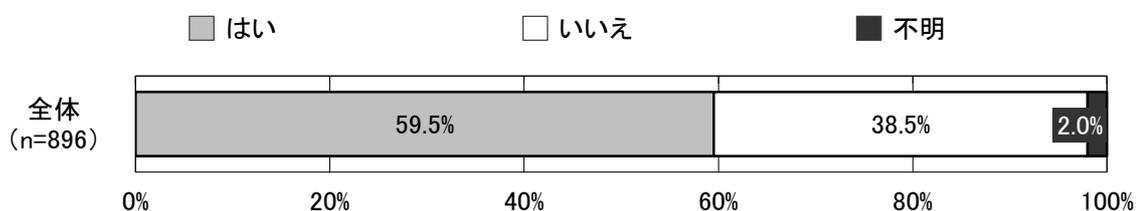
1. はい

2. いいえ

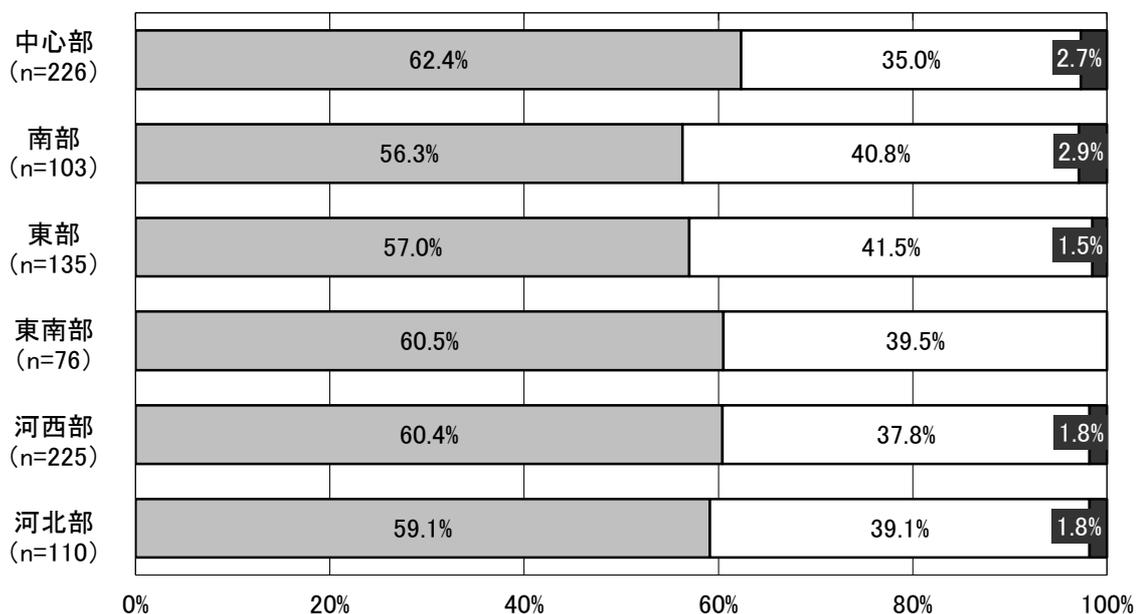
災害に対する備えの実施は、「はい」が 59.5%、「いいえ」が 38.5%となっている。

地域別にみると、実施率は「中心部」(62.4%)が最も高く、他の地域も 6 割前後となっている。

年代別にみると、実施率は「60～69 歳」(63.3%)が最も高い。20 歳から 79 歳までは実施率が 50%を超えるが、「18～19 歳」(33.3%)と「80～89 歳」(44.4%)は低くなっている。



<地域別>

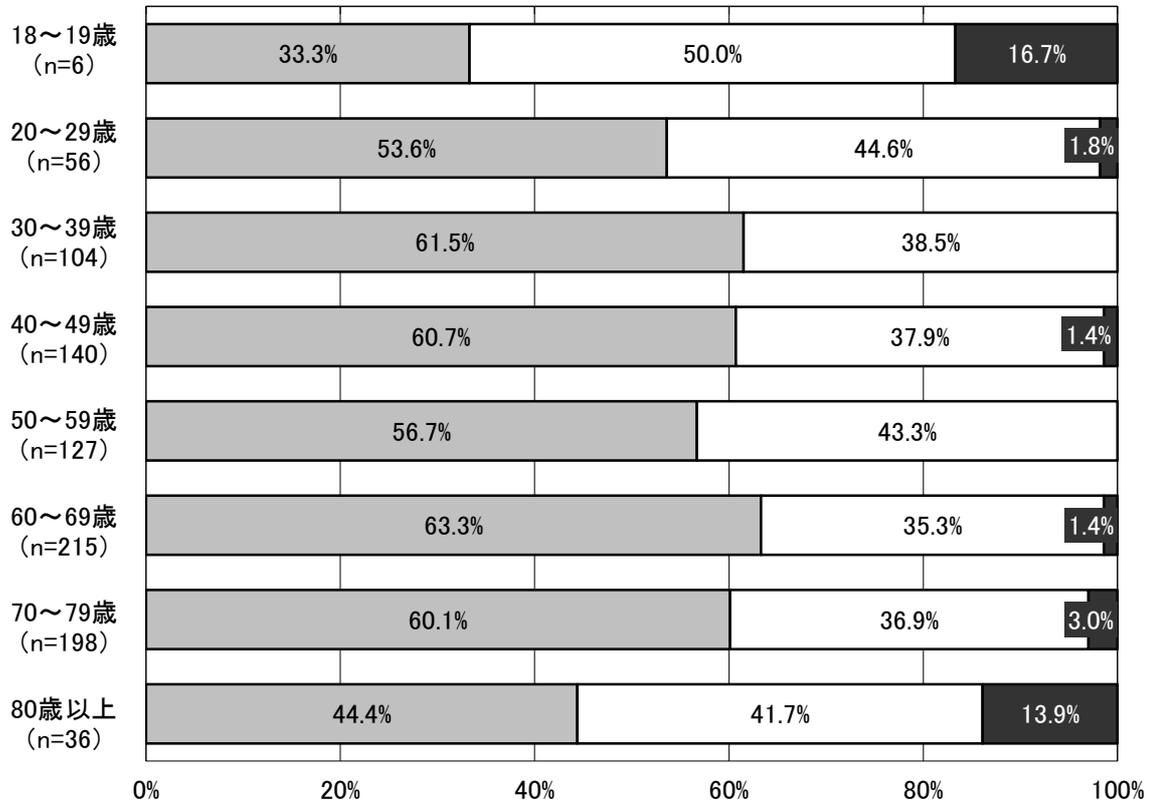


■ はい

□ いいえ

■ 不明

<年代別>



問 12-1 災害に備えること

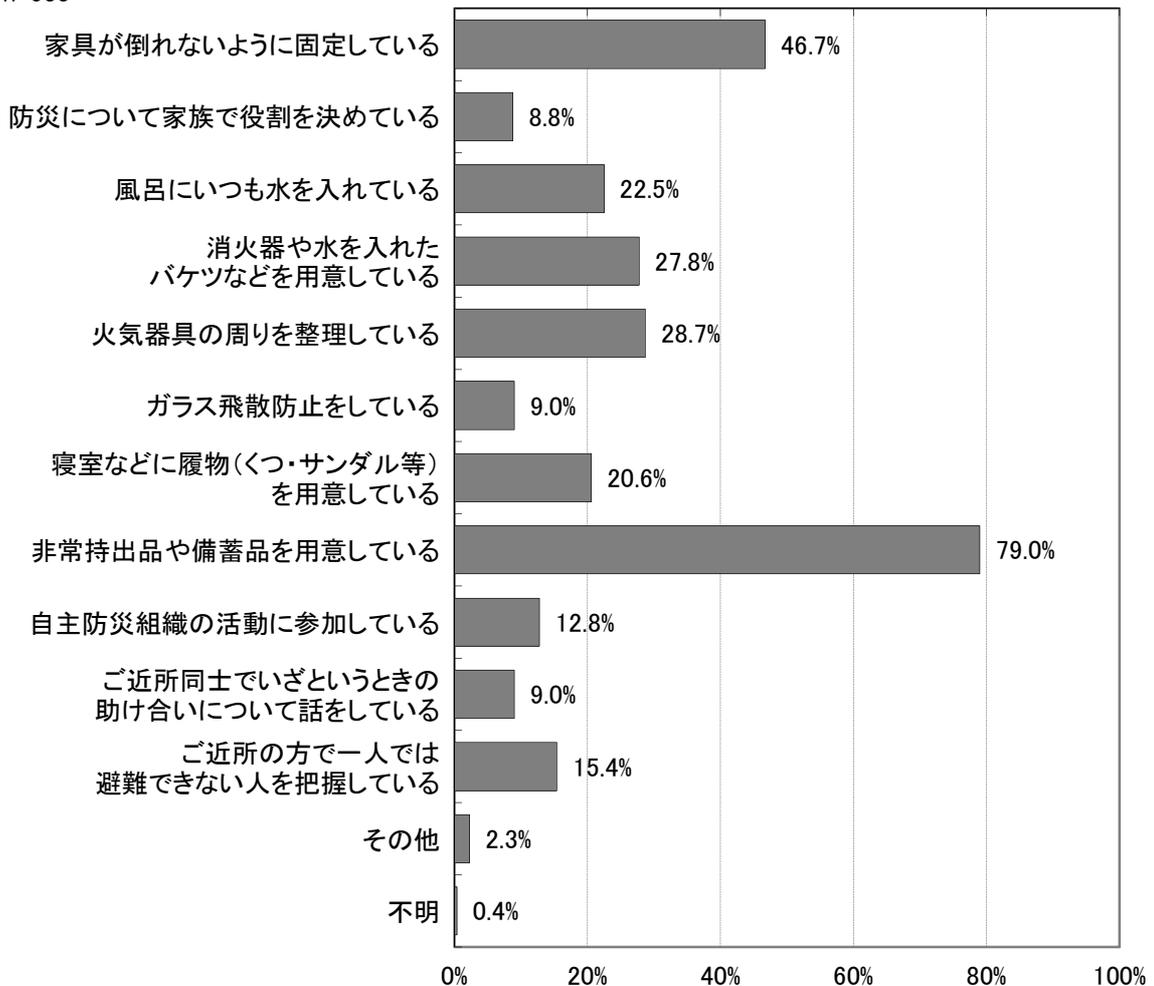
問 12-1 問 12 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

災害の発生に備えてどのようなことをしていますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 家具が倒れないように固定している | 8. 非常持出品や備蓄品を用意している |
| 2. 防災について家族で役割を決めている | 9. 自主防災組織の活動に参加している |
| 3. 風呂にいつも水を入れている | 10. ご近所同士でいざというときの 助け合いについて話をしている |
| 4. 消火器や水を入れたバケツなどを用意している | 11. ご近所の方で一人では 避難できない人を把握している |
| 5. 火気器具の周りを整理している | 12. その他 |
| 6. ガラス飛散防止をしている | () |
| 7. 寝室などに履物（くつ・サンダル等） を用意している | |

災害に備えていることは、「非常持出品や備蓄品を用意している」(79.0%) が最も高く、次いで「家具が倒れないように固定している」(46.7%)、「火気器具の周りを整理している」(28.7%)、「消火器や水をいれたバケツなどを用意している」(27.8%) の順となっている。

n=533



その他：「集合場所を決める」、「家具を別場所に保管」、「簡易トイレの購入」など

問 12-2 家具を固定していない理由

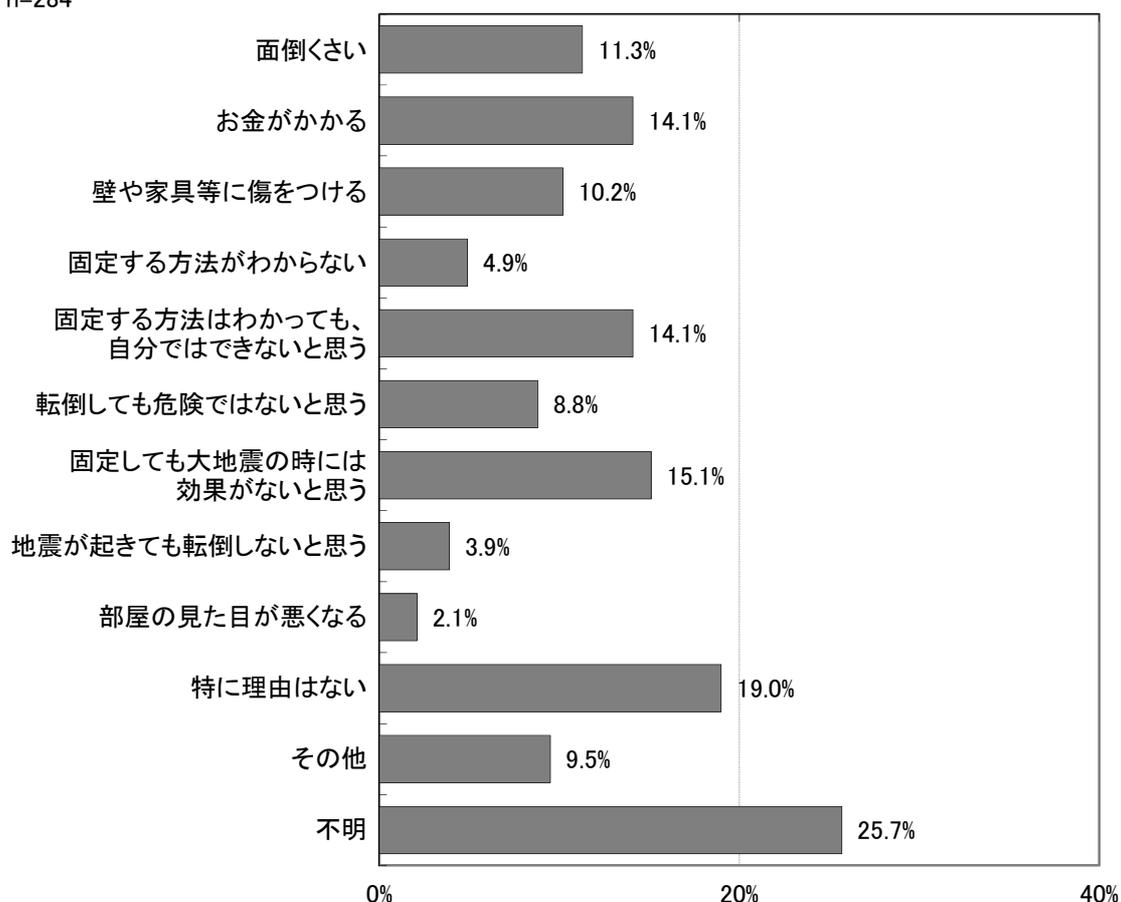
問12-2 問12-1で「1. 家具が倒れないように固定している」を回答されていない方のみお答えください。

家具を固定していない理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1. 面倒くさい | 7. 固定しても大地震の時には効果がないと思う |
| 2. お金がかかる | 8. 地震が起きても転倒しないと思う |
| 3. 壁や家具等に傷をつける | 9. 部屋の見た目が悪くなる |
| 4. 固定する方法がわからない | 10. 特に理由はない |
| 5. 固定する方法はわかっても、 自分ではできないと思う | 11. その他 |
| 6. 転倒しても危険ではないと思う | () |

問12-1で「家具を固定している」を選択しなかった284人について、家具を固定していない理由は、「固定しても大地震の時には効果がないと思う」が15.1%で最も高く、次いで「お金がかかる」(14.1%)、「固定する方法はわかっても、自分ではできないと思う」(14.1%)の順となっている。「特に理由はない」は19.0%となっている。

n=284



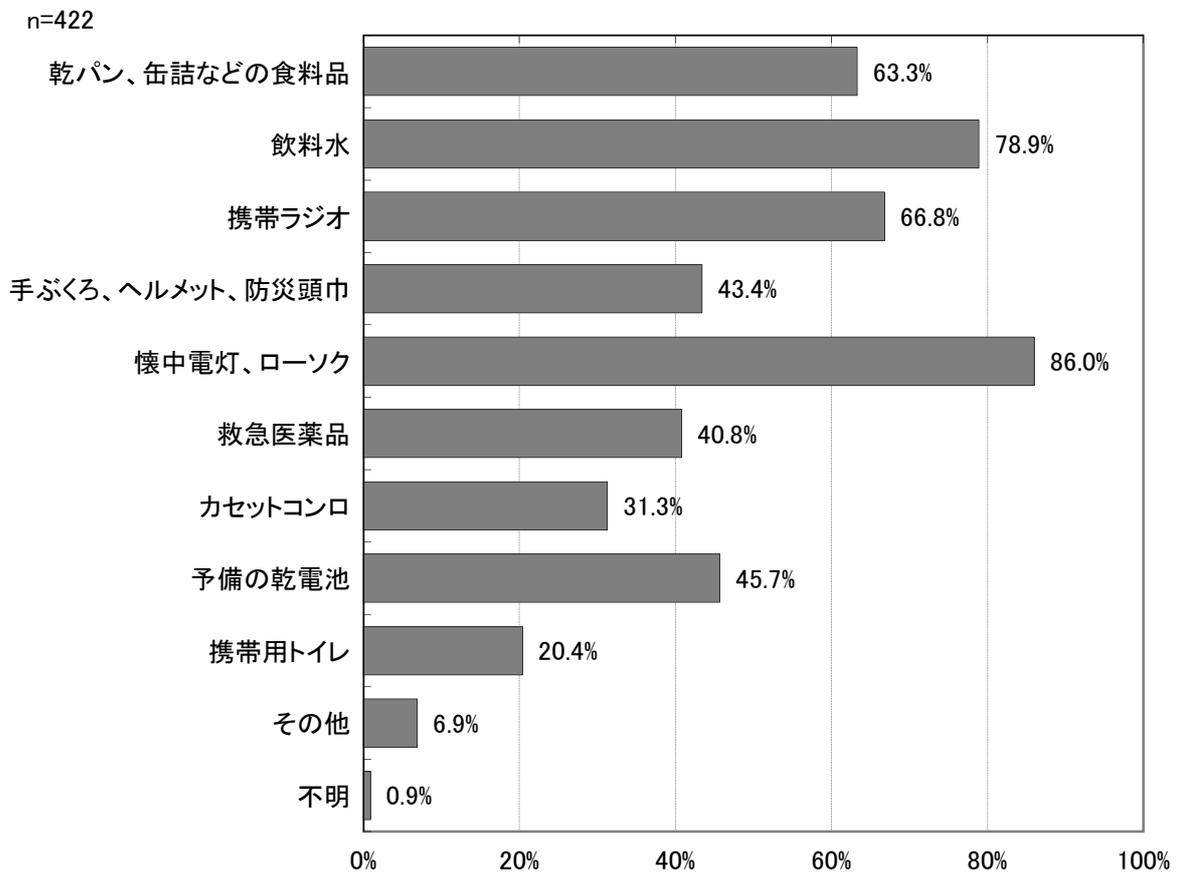
その他：「背の高い家具は置いていない」、「家具は一部屋にまとめている」、「天井がやわらかいため効果がない」、「固定する物を用意しているが、まだできていない」など

問 12-3 用意している非常持出品や備蓄品

問 12-3 問 12-1 で「8. 非常持出品や備蓄品を用意している」と回答された方のみお答えください。
あなたは、どのようなものを用意していますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 乾パン、缶詰などの食料品 | 6. 救急医薬品 |
| 2. 飲料水 | 7. カセットコンロ |
| 3. 携帯ラジオ | 8. 予備の乾電池 |
| 4. 手ぶくろ、ヘルメット、防災頭巾 | 9. 携帯用トイレ |
| 5. 懐中電灯、ローソク | 10. その他 () |

問 12-1 で「非常持出品や備蓄品を用意している」を選択した 422 人について、用意しているものは「懐中電灯、ローソク」が 86.0%と最も高く、次いで「飲料水」(78.9%)、「携帯ラジオ」(66.8%)、「乾パン、缶詰などの食料品」(63.3%)の順となっている。



その他：「タオル」、「肌着」、「生理用品」、「トイレットペーパー」など

問 13 防災に関する取り組み

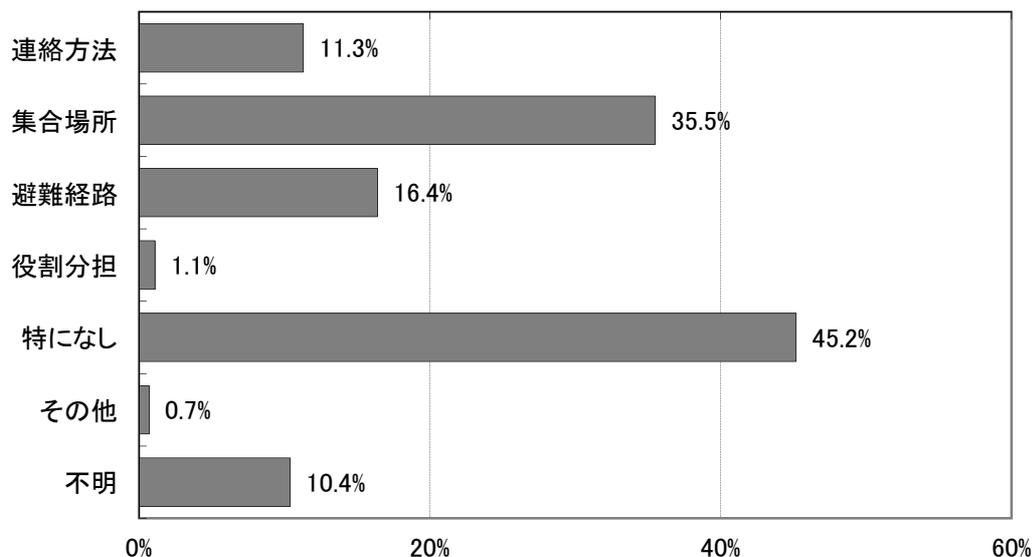
問13 家族や近所の方と防災に関して取り決めていることはありますか？

あてはまるものをすべてお選びください。

- | | | |
|---------|---------|------------|
| 1. 連絡方法 | 3. 避難経路 | 5. 特になし |
| 2. 集合場所 | 4. 役割分担 | 6. その他 () |

防災に関して家族や近所の方と取り決めていることは、「集合場所」が 35.5%、「避難経路」が 16.4%。「特になし」は 45.2%となっている。

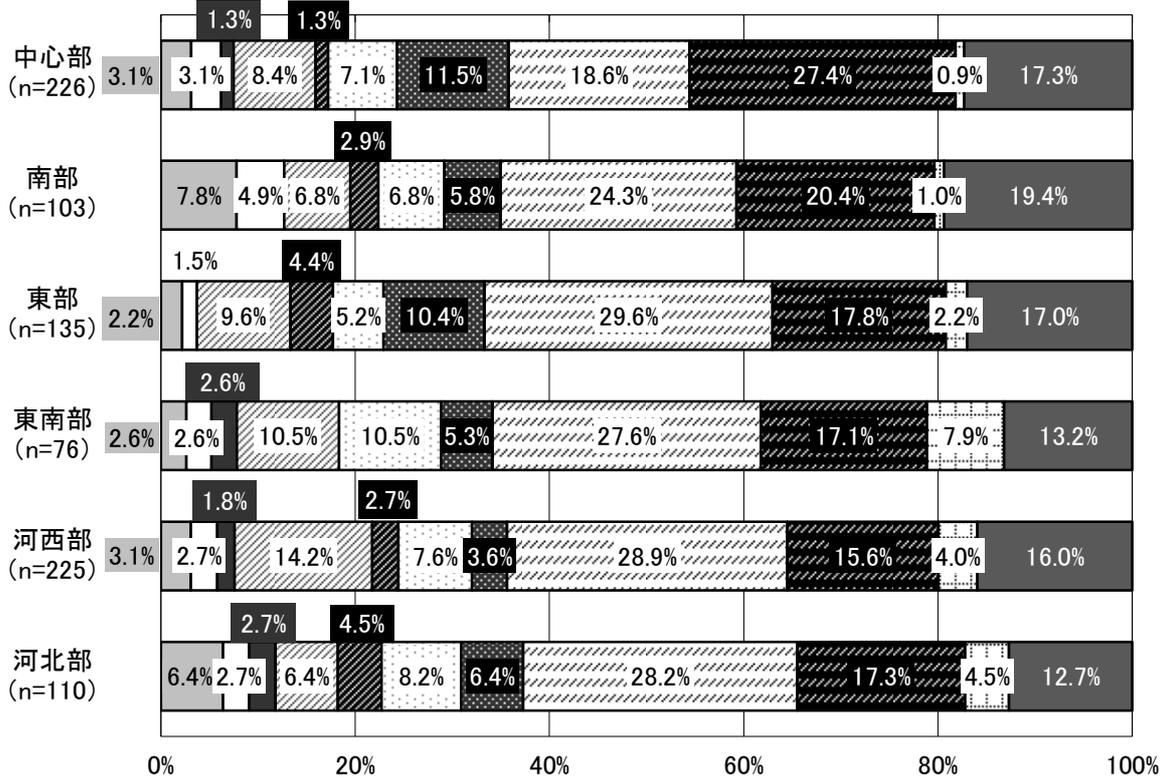
n=896



その他：「寝室の場所」など

- すでに耐震診断を受けている
- すでに耐震改修を行った
- 耐震診断を受けたが、耐震改修はしていない
- ▨ 耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない
- ▩ 耐震診断の制度を知らなかった、ぜひ受けてみたい
- 耐震診断を受けるつもりはない
- 賃貸なのでわからない、または勝手にできない
- ▨ 昭和57以降に建てられた木造住宅である
- 木造住宅ではない
- その他
- 不明

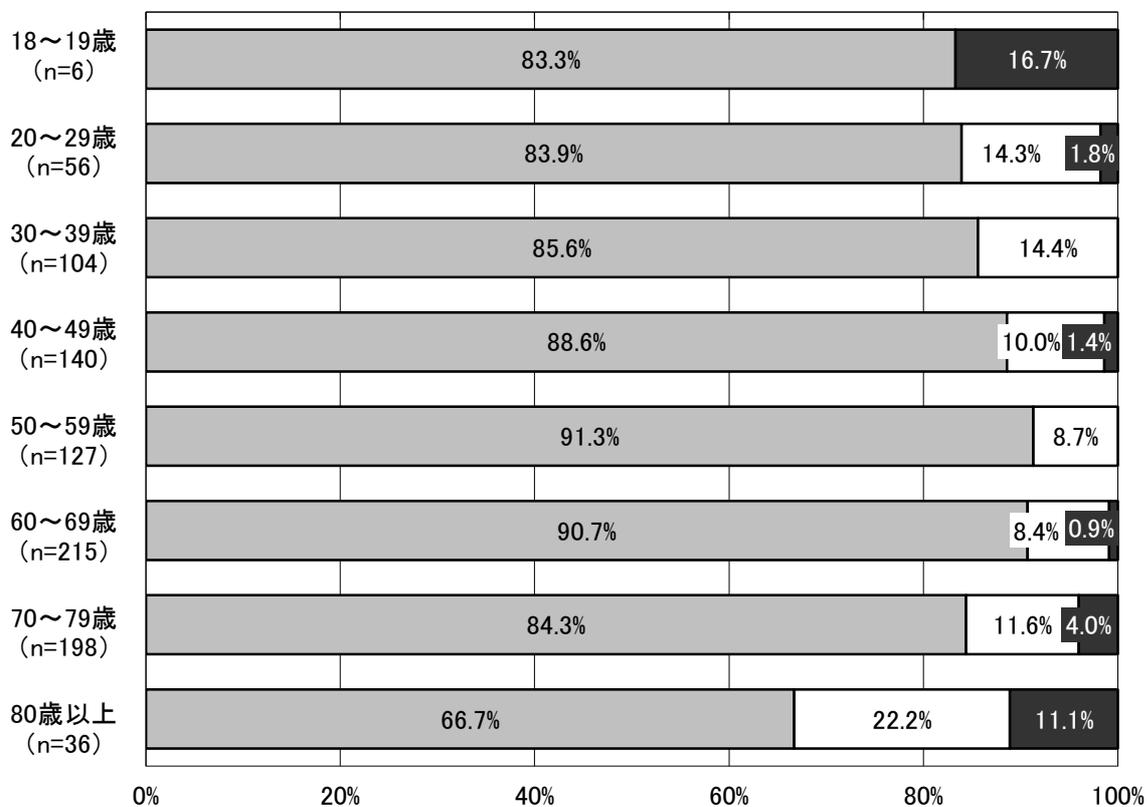
<地域別>



その他：「新築のため、対象外」、「両親に任せている」、「引っ越し予定なので必要ない」など

知っている
 知らない
 不明

<年代別>



問 16 避難所開設のタイミング

問 16 あなたは、避難所が開設されるタイミングを知っていますか？

1. 知っている

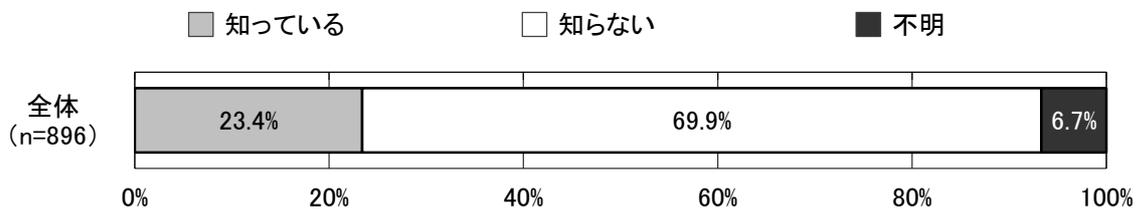
2. 知らない

※ 開設のタイミングは、災害が発生し、または二次災害が発生するおそれがあり、避難者の収容を必要と認めるときや、災害が発生し自主的な避難があったときなどです。

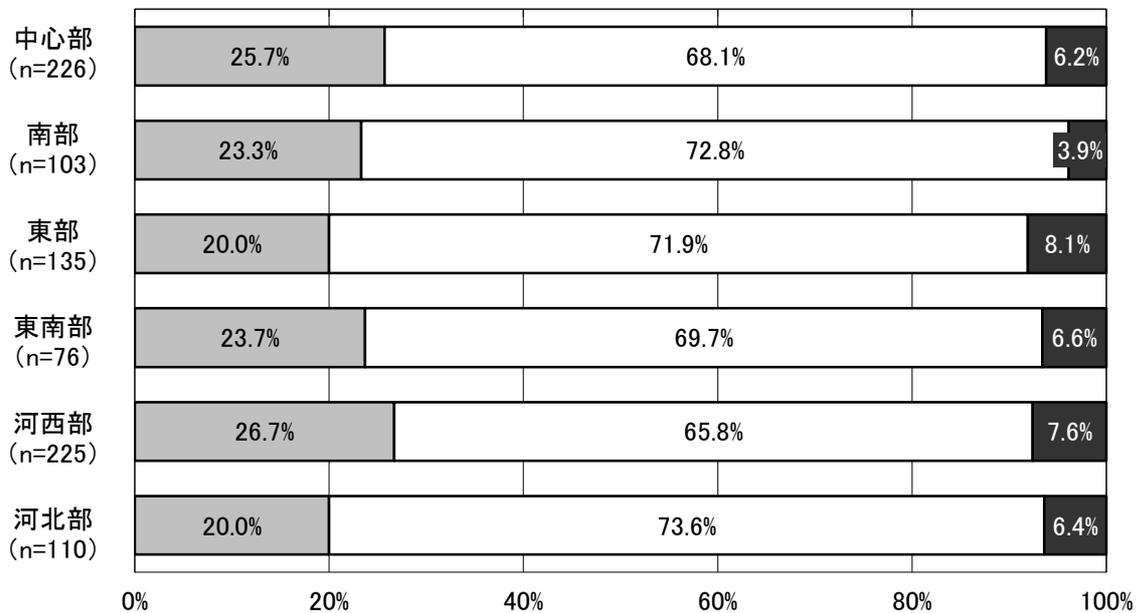
避難所開設のタイミングは、「知っている」が 23.4%、「知らない」が 69.9%となっている。

地域別にみると、「知らない」は河北部が 73.6%で最も高くなっている。

年代別にみると、「知らない」は 18～19 歳が 100%と最も高く、次いで 20～29 歳が 87.5%で、40～49 歳（80.7%）、30～39 歳（76.9%）の順となっている。

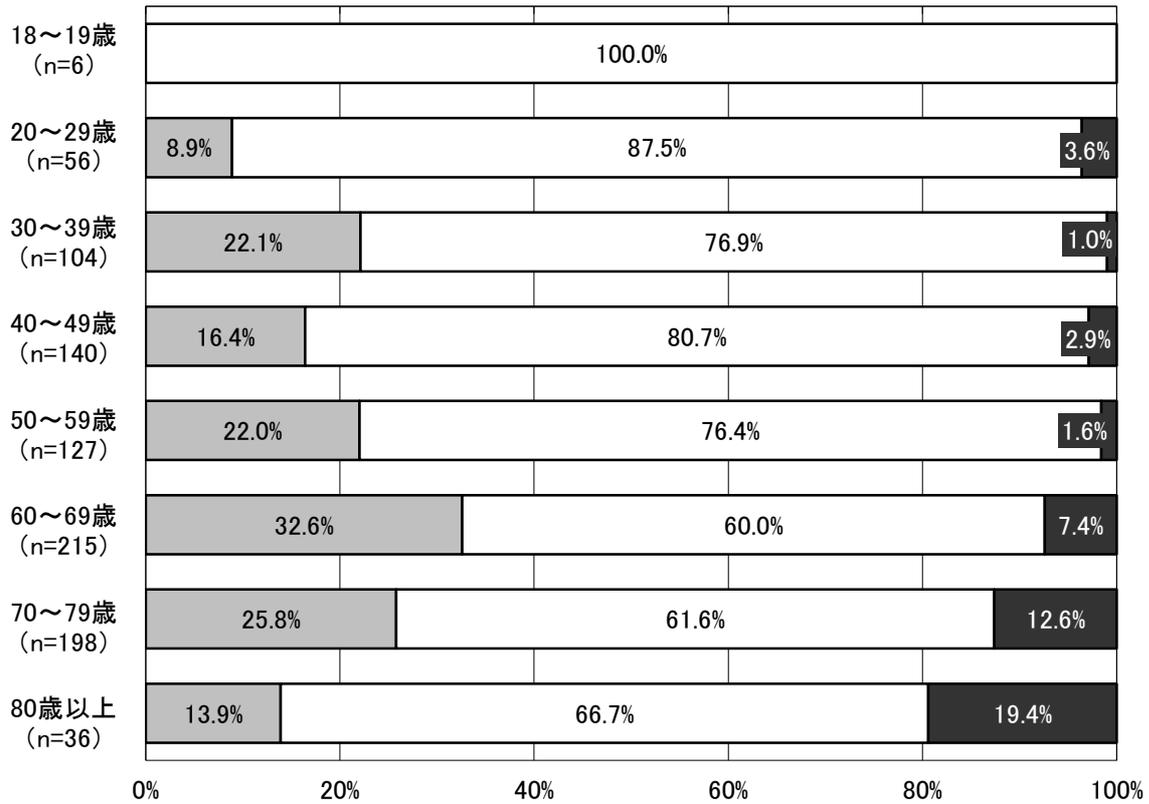


<地域別>



■ 知っている □ 知らない ■ 不明

<年代別>

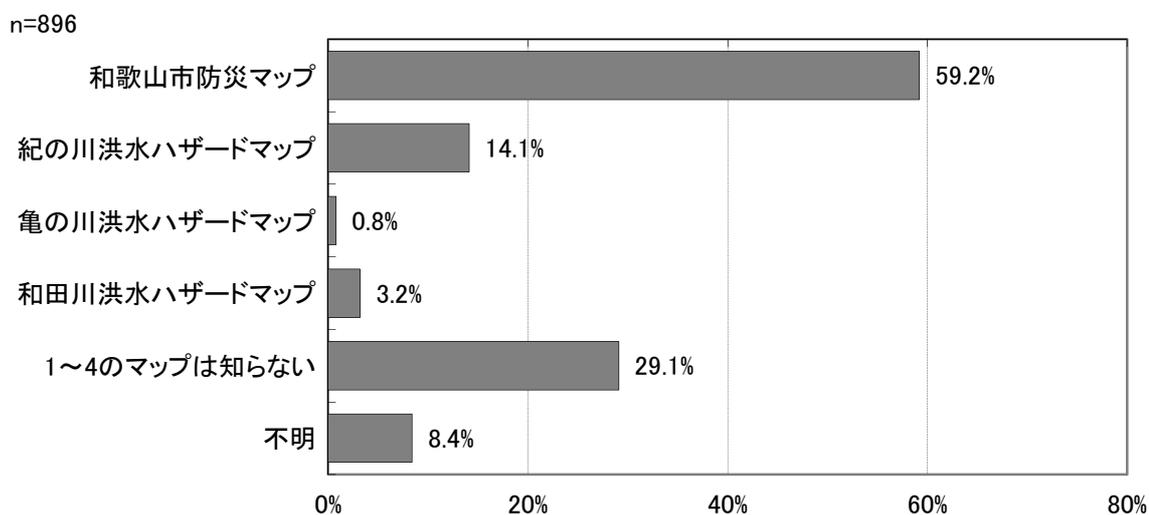


問 17 ハザードマップの認知度

問 17 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？
あてはまるものをすべてお選びください。

1. 和歌山市防災マップ
2. 紀の川洪水ハザードマップ
3. 亀の川洪水ハザードマップ
4. 和田川洪水ハザードマップ
5. 1～4のマップは知らない

ハザードマップの認知度は、「和歌山市防災マップ」が 59.2%で最も高くなっている。「1～4 のマップは知らない」は 29.1%となっている。



問 18 津波への対処

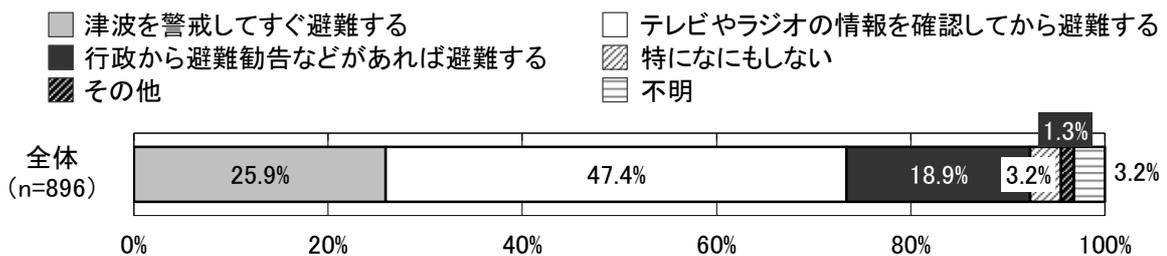
問 18 あなたは、地震の大きな揺れを感じたら、津波に備えてどう行動しますか？
沿岸地域にいる場合を想定して、あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 津波を警戒してすぐ避難する
- 2. テレビやラジオの情報を確認してから避難する
- 3. 行政から避難勧告などがあれば避難する
- 4. 特になにもしない
- 5. その他 ()

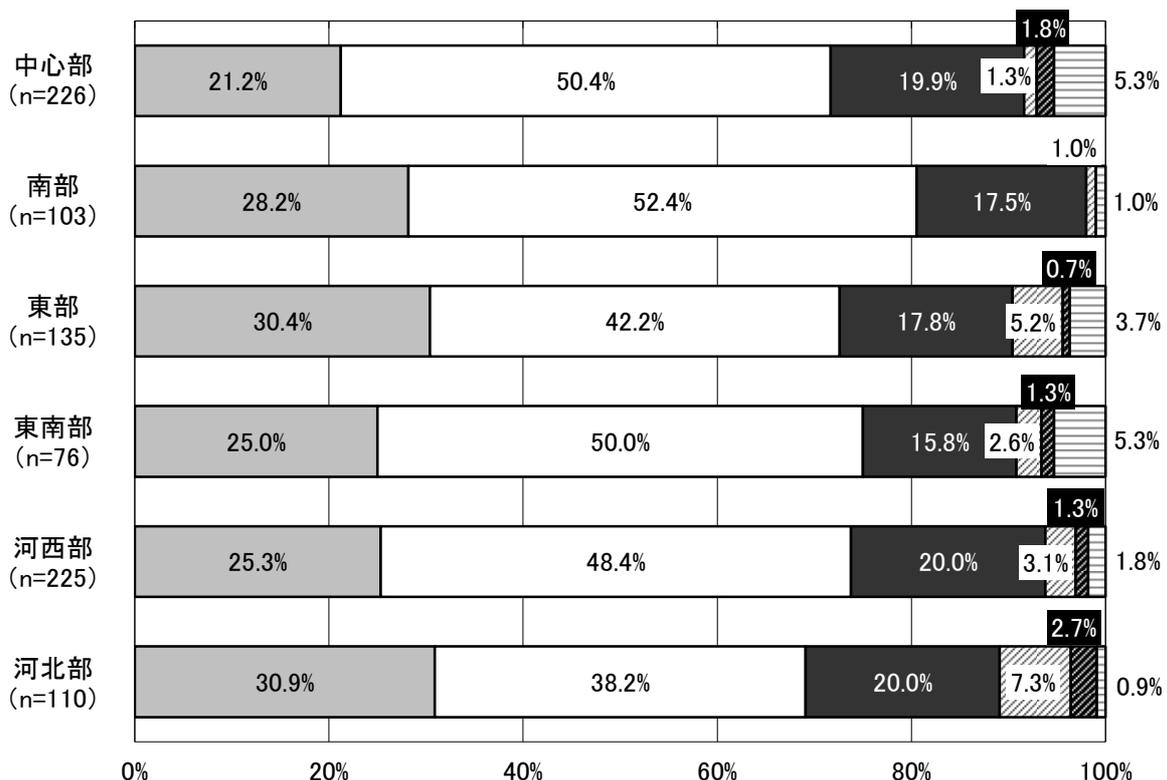
津波への対処については、「テレビやラジオの情報を確認してから避難する」が47.4%で最も高く、次いで「津波を警戒してすぐ避難する」(25.9%)となっている。

地域別にみると、「テレビやラジオの情報を確認してから避難する」は南部が52.4%で最も高く、「津波を警戒してすぐ避難する」は河北部が30.9%で最も高くなっている。

年代別にみると、「テレビやラジオの情報を確認してから避難する」は18~19歳が83.3%と最も高く、「津波を警戒してすぐ避難する」は30~39歳が31.7%で最も高くなっている。

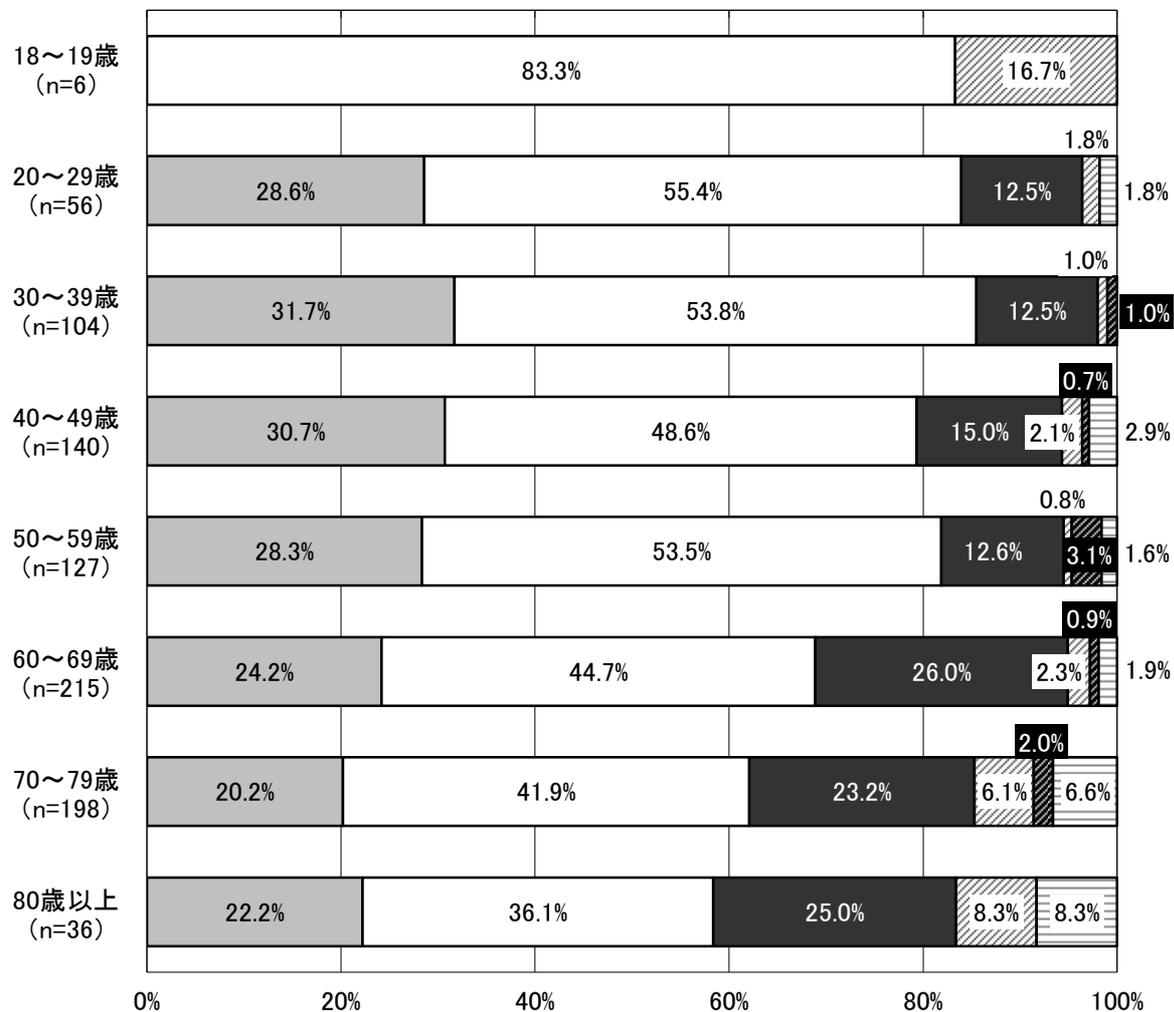


<地域別>



- 津波を警戒してすぐ避難する
- 行政から避難勧告などがあれば避難する
- その他
- テレビやラジオの情報を確認してから避難する
- ▨ 特になにもしない
- ▨ 不明

<年代別>



その他：「マンション最上階に行く」、「ツイッターなどSNS利用」など

問 19 自主防災組織への参加意向

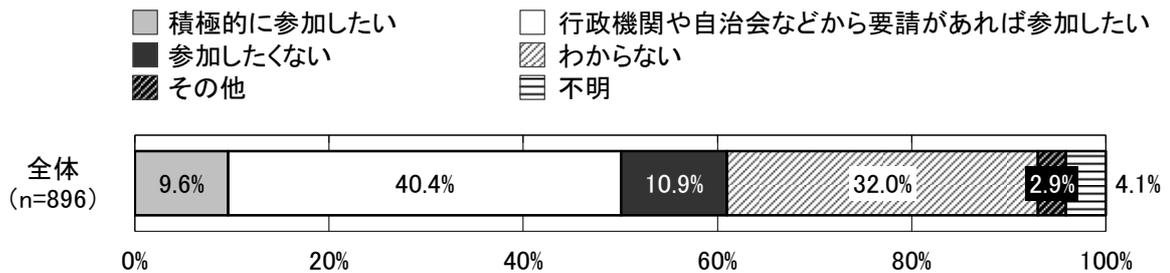
問 19 和歌山市では、災害から「わが家わが町を守るため」地域の人々が結成した自主防災組織の育成を推進しています。あなたは災害発生に備え、地域の自主防災組織に参加したいと思いますか？

- 1. 積極的に参加したい
- 2. 行政機関や自治会などから要請があれば参加したい
- 3. 参加したくない
- 4. わからない
- 5. その他 ()

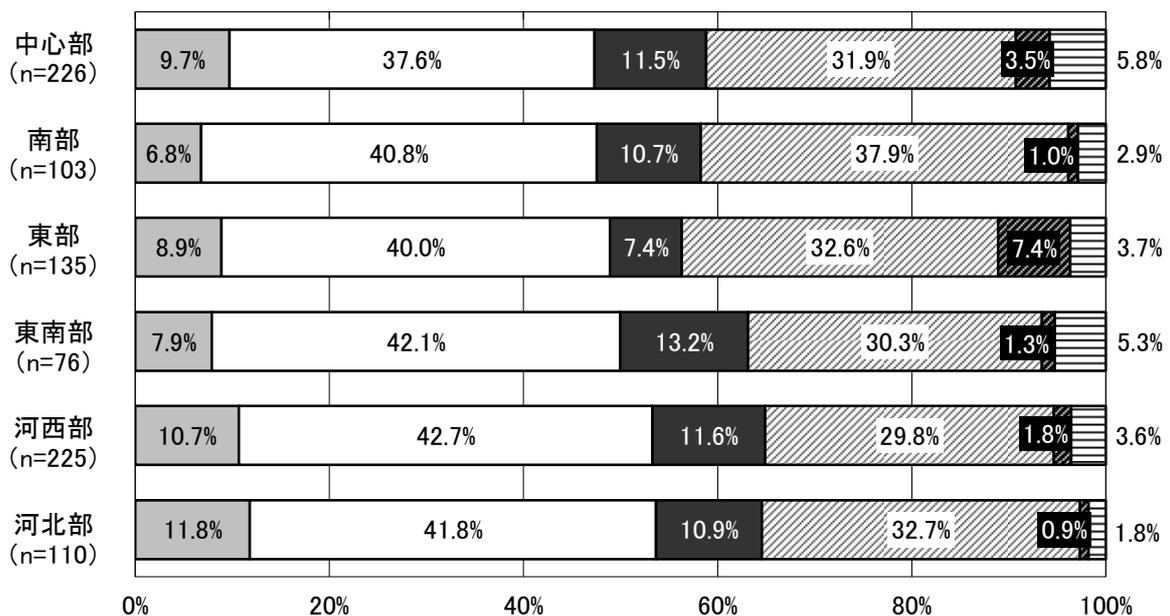
自主防災組織については、「積極的に参加したい」(9.6%)と「行政機関や自治会などから要請があれば参加したい」(40.4%)を合わせた50.0%が「参加したい」意向があり、「参加したくない」は10.9%となっている。

地域別にみると、「参加したい」意向は河北部(53.6%)、河西部(53.4%)、東南部(50.0%)が50%を超えている。

年代別にみると、「参加したい」意向は60~69歳(56.7%)が最も高く、「参加したくない」は18~19歳(33.3%)が最も高くなっている。

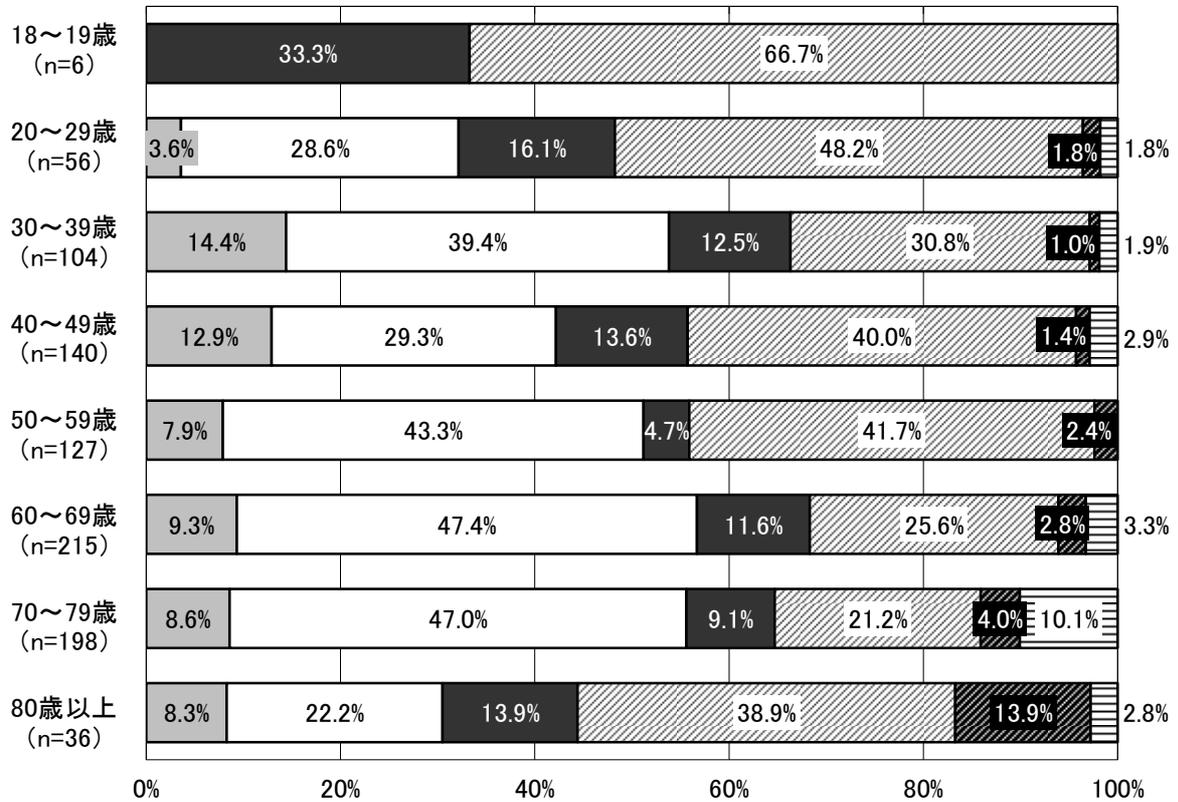


<地域別>



- 積極的に参加したい
- 参加したくない
- その他
- 行政機関や自治会などから要請があれば参加したい
- ▨ わからない
- ▨ 不明

<年代別>



その他：「高齢で参加できない」、「病気がちの為参加しにくい」、「業務の都合により厳しい」など

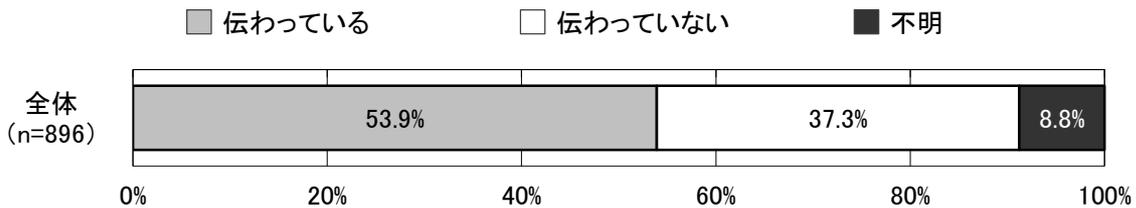
問 20 防災行政無線からの情報伝達

問 20 災害発生時や災害が発生するおそれがある時、防災行政無線等によって市から情報を発信していますが、その情報はあなたに伝わっていますか？

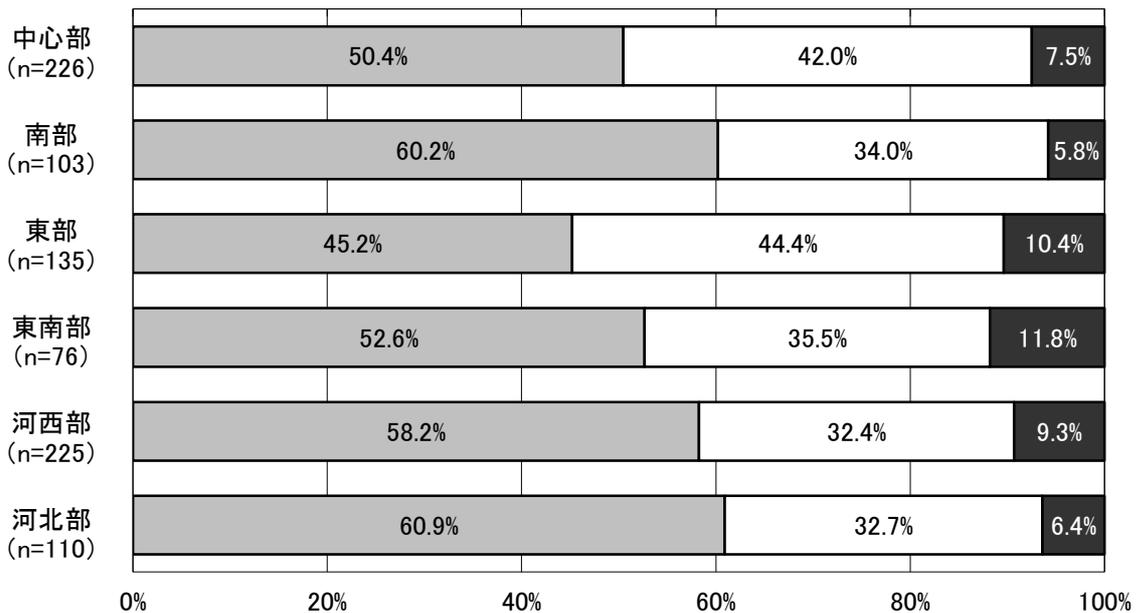
1. 伝わっている
2. 伝わっていない【理由： 】

防災行政無線からの情報伝達は、「伝わっている」が 53.9%、「伝わっていない」は 37.3%となっている。

地域別にみると、「伝わっていない」は東部で 44.4%と最も高く、次いで中心部（42.0%）となっている。



<地域別>



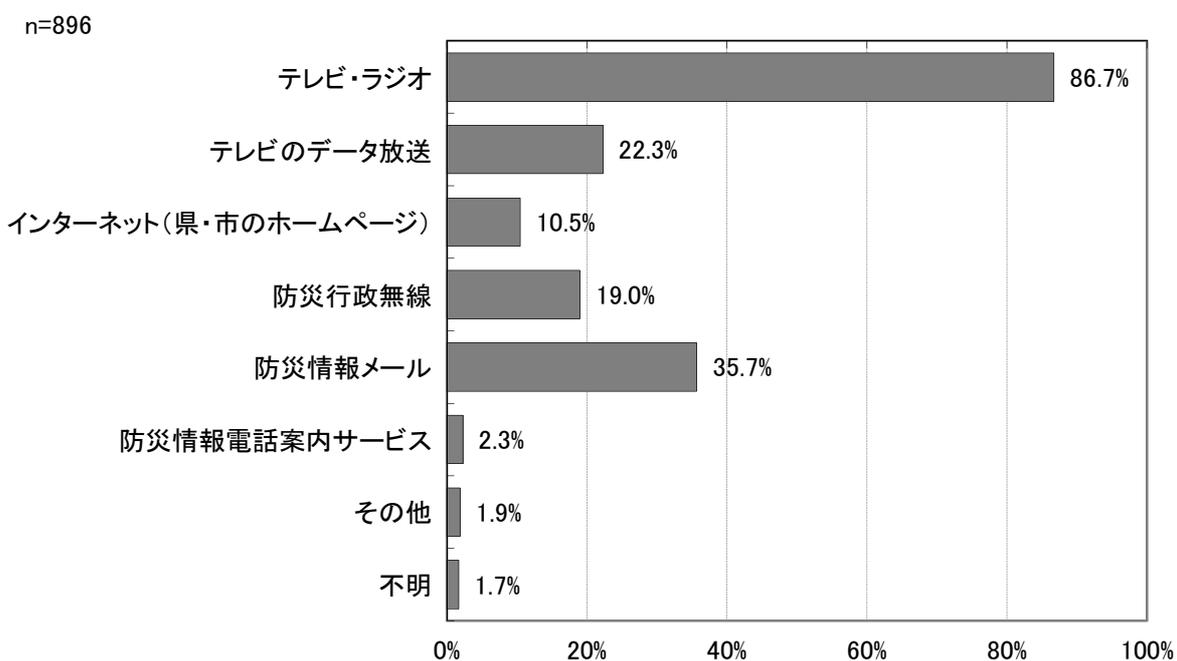
伝わっていない理由：「室内に居ると聞こえにくい」、「近くに防災行政無線の設備（スピーカー）がない」、「情報を聞いた事がない」、「具体的にどのように発信しているのかがわからない」など

問 21 災害時の情報源

問 21 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれがある時、その情報をどこから得ていますか？

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. テレビ・ラジオ | 5. 防災情報メール |
| 2. テレビのデータ放送 | 6. 防災情報電話案内サービス |
| 3. インターネット(県・市のホームページ) | 7. その他 |
| 4. 防災行政無線 | () |

災害時の情報源は「テレビ・ラジオ」が86.7%で最も高く、次いで「防災情報メール」(35.7%)、「テレビのデータ放送」(22.3%)「防災行政無線」(19.0%)の順となっている。



その他：「スマートフォン」、「ツイッター」、「自治会」など